

【研修報告】

日本医師会における喫煙対策への取り組み

—国際学会での発表を終えて—

川根 博 司*

はじめに

欧米先進国においては、多くの医師会が従来からアンチスモーキング（反喫煙）の態度を正式に表明しており、社会活動の一環としてさまざまな啓発活動を推進してきた。一方、わが国では、日本医師会が2001年の重点施策として禁煙キャンペーンを展開していく方針を初めて表明したところである。

筆者は1997年に全国の都道府県医師会における喫煙対策の現状についてアンケート調査を実施し、日本医師会が喫煙対策に積極的に取り組むべきだとする意見が過半数を超えていることを報告した（川根、1998）。その後、前述したように、やっと日本医師会も2001年から積極的に禁煙運動を推進していくことを明らかにしたわけである。そのような状況の変化を踏まえて、筆者は都道府県医師会における喫煙対策への最近の取り組みなどを知るため、2001年にも同様のアンケート調査を行った（川根、2002）。

今回、その調査結果を第12回欧州呼吸器学会（12th European Respiratory Society Annual Congress）において発表する機会を得たのでここに紹介する。

対象と方法

2001年9月下旬に、全国の47都道府県医師会会長宛に喫煙対策などについて14の質問事項のあるアンケート用紙を郵送し、調査を依頼した。12月初旬までに45の医師会から有効回答が得られ、回収率は95.7%であった。

結果および考察

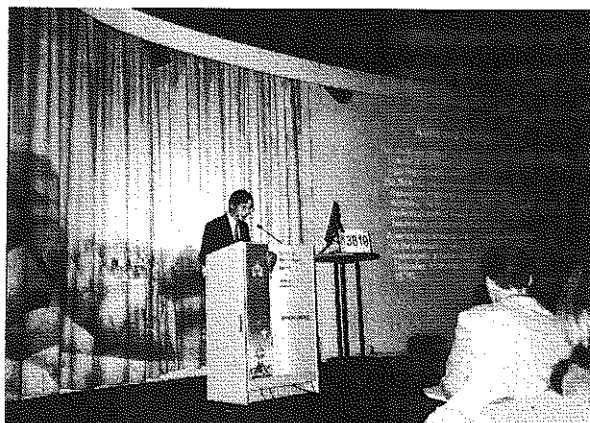
喫煙対策に取り組んでいるのは27医師会（60.0%）であり、今後取り組む予定があると答えたのは9医師会（20.0%）であった。前回の1997年に実施した調査では、44都道府県医師会のうち喫煙対策に取り組んでいるのは8医師会（18.2%）しかなく、今後取り組む予定があると答えたのは11医師会

（25.0%）であった。今回の調査から、喫煙対策に取り組む都道府県医師会が大幅に増えたことが明らかになった。医師会館内の喫煙規制は41医師会（91.1%）でなされていたが、全館禁煙は3医師会のみであった。前回の調査ではそれぞれ29医師会、1医師会であったので、会館内での喫煙規制は分煙、全館禁煙とも増加していた。現在の日本政府の喫煙対策を変える必要があると25医師会（55.6%）が回答しており、前回の20医師会（45.5%）よりも増えていた。しかし、まだ17医師会は現状でよいと答えているので、諸先進国政府に比べると、いかに日本政府の喫煙対策への姿勢が間違っているかがまだ十分知られていないことを示唆している。今後は、禁煙キャンペーンを展開している日本医師会とともに、包括的な喫煙対策の推進に向けて一層の取り組みが求められる。

なお、今回の年次大会で発表した演題の要旨は、学会誌・増刊号に英文抄録が掲載されていることを記しておく（Kawane, 2002）。

おわりに

第12回欧州呼吸器学会は、2002年9月14日から18日までスウェーデン・ストックホルムで開催された。今回の学会へは100カ国余りから13,000人以上の参加者があったという。前回の調査結果につ



学会発表中の筆者

* 日本赤十字広島看護大学 kawane@jrchen.ac.jp

いては、1998年にスイス・ジュネーブで開かれた第8回欧州呼吸器学会において示説発表していたが、今回はポスター形式ではなく一般口演であった。日本の学会に比べて口演時間が15分（発表10分、質疑応答5分）と長いものであった（写真）。いくつか出た質問も何とか無事に切り抜けることができ、ホッとするとともに、次回もまたぜひ参加したいとの思いを抱いた。今回の学会では、普通のスライドは全く受け付けてもらえず、すべてパワーポイントなどコンピューターによるプレゼンテーションなのが印象的であった。

スウェーデンといえばノーベル賞を思い浮かべる人が多いであろうが、学会の合間には、ノーベル賞授賞式が行われるコンサートホールで催されたクラシックの演奏会を聴きに行き、優雅な雰囲気を堪能した。また、市庁舎も見どころとして有名であるが、ノーベル賞授賞祝賀晩餐会が開かれるブルーホールの大広間やノーベル賞授賞パーティーの舞踏会用広間として使われる黄金の間も見学することができた。おかげで、2002年のノーベル賞を受賞した小柴昌俊・田中耕一両氏のストックホルムでの動向がとてもよくわかった。

謝 辞

今回の国際学会に出席する機会を与えて下さいました本大学および関係者の方々に感謝いたします。

文 献

- 川根博司 (1998). 都道府県医師会における喫煙対策への取り組み—アンケート調査結果から—. *日本医事新報*, 3883, 43-46.
- 川根博司 (2002). 都道府県医師会における喫煙対策への取り組み (第2報) —アンケート調査結果から—. *日本医事新報*, 4077, 29-32.
- Kawane, H. (2002). Recent attitudes of the Japan Medical Association regarding smoking control. *European Respiratory Journal*, 20(Suppl38), 611s.